

授業科目 音楽療法入門

【担当教員名】 丸山 敬子	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	○	○	○	○

【概要・一般目標：G10】
 <概要>音楽療法はさまざまな健康レベル、さまざまなライフステージの人々を対象に、QOL 向上のためにさまざまな職種の人々が実践している。その音楽療法について、目的、対象、方法、理論の概要を学び、各専門分野における音楽療法の適用の可能性や具体策について他職種との連携も含めて学習する。
 <G10>さまざまな人々を対象とした音楽療法プログラムの立案を体験することにより、音楽療法の具体的方法や各専門分野の独自性と連携を活かした音楽療法を考察する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 音楽療法の目的、対象、方法、理論について概説できる
2. 対象の特性をふまえた音楽療法プログラムを立案できる。
3. 各専門分野の特色と連携を考慮した音楽療法の可能性について、自らの考えを述べるができる

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	音楽療法の目的、対象、方法、理論	1	講義
2	音楽療法の場と他職種との連携、プロセス	1・3	講義
3	高齢者（認知症）の音楽療法	2	講義と体験
4	小児（肢体不自由・発達障害）の音楽療法	2	講義と体験
5	精神障害者・難病をもつ人などの音楽療法	2	講義と体験
6	楽器奏、歌唱などの音楽活動と音楽療法、	2	講義と体験
7	他職種との連携をふまえた音楽療法プログラム立案	2・3	講義と個人ワーク
8	まとめ	2・3	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	ひとと音・音楽療法として音楽を使う	山根 寛	青海社	2007・3,360円
その他の資料	適宜配布			

【評価方法】 レポート 80% 課題提出物 20%	【履修上の留意点】 音楽経験の有無は履修に影響しない。
------------------------------	--------------------------------